

模擬授業案：

「自分ごと」にするために、児童の切実感をもって、実感的にとらえさせるための工夫

実際の地震の映像や写真資料とともに、最近発生した地震の記録や1週間の地震発生資料、地震発生ドットマップ（世界・日本地図）、首都直下型地震に関する予測データなどの統計資料や地図等を活用し、日本では地震が日常的に発生していることや世界的な地震国であることを捉えさせる。そして、地震の備えが将来にわたって誰にでも必要であることを実感させる。

主な学習活動●・内容◇	○留意点 □資料
<p>1. 地震災害の映像や写真から地震被害の大きさや発生の理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●写真や映像をもとに、地震被害の状況や大きさについて考える。 ●各自の知っている事や体験を基にして話し合う。 <p>◇地震災害の様子や被害の状況（二次災害）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の崩壊 ・土砂災害 ・火災発生 ・ライフラインSTOP ・交通機関STOP <p>2. これまでに日本で起きている大きな地震について日本地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これまでに（阪神淡路大震災以降）日本で起きている大きな地震について日本地図にまとめる。 <p>3. 日本の地震災害の現状について国土の特徴と関連づけながら調べ、学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作製した地震災害マップから、日本各地で大きな地震が発生していることについて確認する。 ●資料をもとに、世界的に見て日本が地震大国であることを確認する。 ●資料をもとに、日本で地震が多発する理由について話し合う。 ●地震が日常的に発せしていることや大きな地震が発生する可能性について知り、被害を最小限におさえるためにはどうしたらいいのか考え、話し合う。 <p>◇日本の国土の特徴と地震災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・M5以上の地震発生の割合が全世界の20.7%が日本 ・世界的に日本は地震発生が多い国 ・4つのプレートの境にある国土 ・日常的に地震は発生している ・M7以上の大地震の可能性 	<p>○実際の地震の映像を見せたり、写真を提示して被害の大きさを実感させたり、森林による自然災害の防止には限界があることをとらえさせる。</p> <p>□DVD資料「新潟中越地震」 □写真資料「新潟中越地震」 □新聞記事 （※二次災害の様子：土木学会作成DVD）</p> <p>○日本地図に地震の発生箇所を書き込む活動を通して、日本全国で大きな地震が発生し、大きな被害を及ぼしていることを捉えさせる。</p> <p>□阪神大震災以降に発生した地震 □日本白地図</p> <p>○様々な統計資料を提示して日本が世界的にみて地震大国であること、大きな地震がいつ発生してもおかしくない国土であることをとらえさせる。</p> <p>□M6以上の地震発生回数 □世界の震源分布とプレート □日本付近の地震活動 □地震発生可能性 □今週1週間の地震活動 □今日の地震活動 （※地震発生とプレート：土木学会作成DVD）</p>